

連携いいわい

令和4年6月

第35号

岩手県立磐井病院

地域がん治療の充実へ

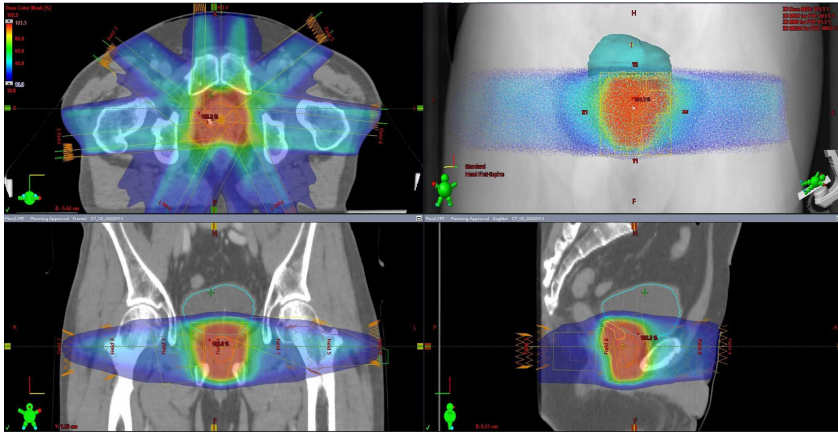
当院は地域のがん拠点病院として、専門的ながん治療の提供や相談支援を行っており、今年2月に新たな放射線治療装置（リニアック）へ更新しました。

最新の制御機能と高連携システムにより、これまで以上に精度の高い放射線治療をより多くの患者さんに提供できるようになりました。例えば、放射線の照射範囲をより細かく調整できたり、放射線の強弱を調整したりして、正常な組織の被ばくを最小限に抑えることができます。また、治療時には、より正確な位置合わせができるレーザースキャンを用いる先進の照合システムも岩手県内初導入しました。



最新のリニアック導入

【写真】新リニアック『Vital Beam』と、右側から阿部科長、塩谷放射線技師、千葉放射線技師



新装された放射線治療室は、木目調の内装、天窓調の照明を採用して、心地よい開放感のある空間でリラックスして治療を受けられます。放射線治療は、がんの三大療法（手術治療、薬物治療、放射線治療）の中では、患者さんのQOLを最も妨げない治療法です。がんの種類やステージ、患者の目的に合わせた柔軟な治療ができ、先進的かつ安全、安心な医療を提供していきます。

放射線治療科長 阿部 恵子

＜岩手県立磐井病院 理念＞

地域と連動し、患者さんにやさしく、質の高い安全な医療を提供します

＜岩手県立磐井病院 基本方針＞

- ①十分な説明と同意のもと、患者さん中心の医療を提供します。
- ②常に最新の医療を求め、高度でかつ専門的な医療を提供します。
- ③患者さんの安全を最優先としたチーム医療を提供します。
- ④地域医療と連動し、患者さんの健康増進、救急医療の充実に努めます。
- ⑤豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人の共育を行いながら育成します。
- ⑥職員一人一人が自覚を持って健全な病院経営に努めます。
- ⑦新しいことはデータに従って理論的に行ない、必ず施行後に検証を行ないます。

Contents

- 最新リニアック（放射線科）・・・1
- 新任医師紹介・・・2.3
- （両磐地区）
『地域連携パスの取り組み』
について・・・4

2022年度新任医師の紹介

今年度から新たに当院の一員として加わった新任医師の紹介です。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

- ① 役職名
- ② 出身大学
- ③ 専門分野
- ④ ひとこと

新任医師



森谷 邦彦

- ① 小児科医長
- ② 山形大学
- ③ 小児科一般
小児血液免疫・腫瘍
- ④ 地域医療に貢献できるよう
子どもたちのためにがんばります。



佐藤 紀夫

- ① 小児科医長
- ② 東北大学
- ③ 小児科一般
- ④ 2年ぶりに当院に戻ってまいりました。地域の子どもの健康と保護者のみなさんの安心の一助となれるよう頑張ります。



阿部 出

- ① 消化器内科医長
- ② 秋田大学/東北大学大学院
- ③ 消化器内科（下部消化管領域）
- ④ 炎症性腸疾患や大腸内視鏡が専門です。地域の為にがんばります。



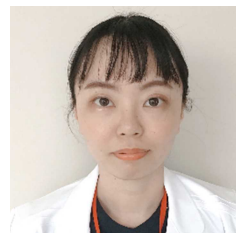
河野 富岳

- ① 救急科医長
- ② 山形大学
- ③ 救急
- ④ 一関の医療のお役に立てるよう頑張ります。



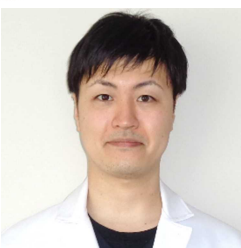
曾根 至

- ① 形成外科医長
- ② 山形大学
- ③ 形成外科一般
- ④ 磐井地域の医療に貢献できるように頑張ります。



加藤 穂乃

- ① 皮膚科医長
- ② 岩手医科大学
- ③ 皮膚一般
- ④ 分かりやすい説明と丁寧な診察を心がけています。よろしくお願いいたします。



六本木 啓

- ① 循環器内科医長
- ② 岩手医科大学
- ③ 循環器内科
- ④ 3年振りに一関に帰って参りました。県南地域の医療に少しでも貢献できるよう、努力して参りますので、よろしくお願いいたします。



小城 繁明

- ① 整形外科医長
- ② 岩手医科大学
- ③ 脊椎
- ④ バイク・マラソンが趣味です。
(が、子育てで今はできてません)
磐井病院そして一関市に早く馴染めればと思います。



千田 康之

- ① 麻酔科医長
- ② 獨協医科大学
- ③ 急性期医療
(主に成人の)
- ④ 2005年に一関一高を卒業し、このたび17年ぶりに一関に戻ってきました。これまで救命救急センターで勤務し救急、麻酔、集中治療の3領域に研鑽を積んできた経験を、磐井病院では麻酔科医として活かし、地域に貢献していきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



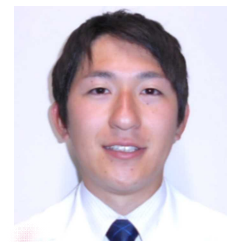
佐藤 光

- ① 麻酔科医長
- ② 奥羽大学
- ③ 歯科麻酔
- ④ 1年間という短い研修期間ですが、よろしくお願ひします。



金森 啓太

- ① 小児科医師
- ② 秋田大学
- ③ 小児神経内科、小児一般
- ④ 岩手県北上市出身です。大学と初期研修を秋田県で送り、その後6年間は東京の小児専門病院で小児科・小児神経内科として従事しました。医師9年目にして、いよいよ地元岩手県の医療に関われることにワクワクしています。岩手の医療人としてはルーキーですので、ご指導よろしくお願ひします。



佐藤 馨

- ① 消化器内科医師
- ② 東北大学
- ③ 消化器内科
- ④ よろしくお願ひします。



荻野 隆央

- ① 外科医師
- ② 東北大学
- ③ 外科
- ④ 初期研修より引き続き磐井病院で働かせていただくこととなりました。より良い医療を目指して精進致します。



田村 泉

- ① 整形外科医師
- ② 日本大学
- ③ 整形外科
- ④ 整形外科専攻医1年目です。精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



小野 貴寛

- ① 産婦人科医師
- ② 東北大学
- ③ 産婦人科
- ④ 地域の医療に貢献できるように頑張ります。



(両磐地区)「地域連携パスの取り組みについて」

磐井病院では以前より脳卒中、大腿骨頸部骨折について地域連携パスを使用することで、地域での医療機関の役割分担を行い、情報共有をすることで患者を支えて行く方針だった。しかし、脳卒中地域連携パスに関しては、対象となる患者基準が限定的で、書類作業が多く年間5例以下の年が続いていた。

今年度より、両磐地区の脳卒中地域連携パスおよび大腿骨頸部骨折地域連携パスの症例数を増やすため、大幅改定を行った。

・脳卒中地域連携パス

これまでは明確な基準が不足しており「自宅復帰」が基準とされていたため、基準の範囲が非常に限られ、該当する場合も急性期医療機関で自宅退院する患者さんがほとんどだったため、適応基準を「自宅または施設など、療養先が決定できる、リハビリの効果が期待できる」とし範囲を広げるとともに、新たに除外基準「入院中に状態の悪化がある、重篤な合併症がある、リハビリの効果が期待できない」と設けることによって状態の悪い患者さんは地域連携パスから除外する様にした。

診療情報提供書とは別に多職種で記載する書式を簡略化し、書類作業を削減し見やすくなるよう工夫した。

・大腿骨頸部骨折地域連携パス

令和4年度の診療報酬改定にて二次性骨折予防継続管理料が新設され、当院は急性期医療機関として当該管理料1を算定している。

今回改定した大腿骨頸部骨折地域連携パスは当院 整形外科長主導のもと作成しており、地域連携パス用紙にある投薬・検査を実施いただくことにより当該管理料2または3の算定が可能*となる。

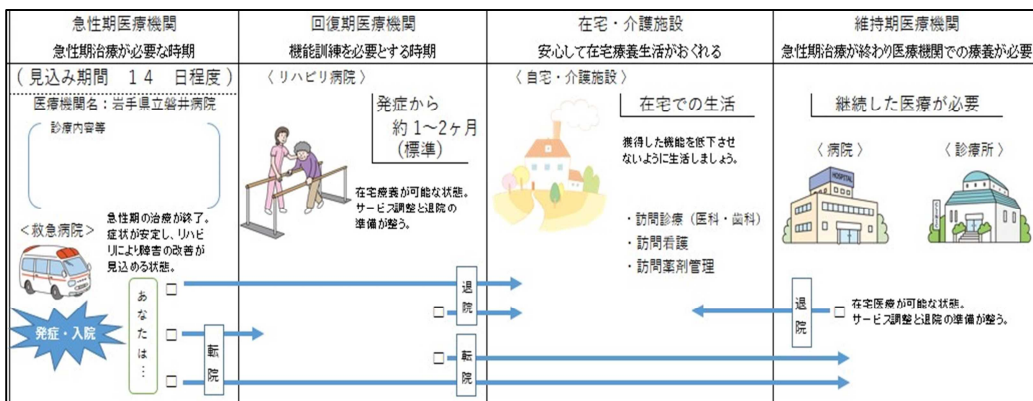
また、大腿骨頸部骨折地域連携パスは診療情報提供書としても取り扱い、回復期医療機関を退院後に骨粗鬆症治療目的に当院整形外科を受診する際には紹介状不要となった。

*算定に当たっては厚労省の定める施設基準を満たす必要があります。

～磐井病院地域連携室からのお願い～

かかりつけ医の先生方につきましても、回復期病院を退院した患者さんが受診されましたら、持参する大腿骨頸部骨折地域連携パス No.3 に骨粗鬆症治療欄に記載いただき当院へ FAX にてご連絡いただきますようお願いいたします。

高齢者の大腿骨頸部骨折は骨粗鬆症による脆弱性骨折で、再骨折予防のため骨粗鬆症治療が必須です。今回の改訂で骨折手術後の骨粗鬆症治療導入継続に対して加算がつくことになりました。当院で導入した治療を継続していただければ幸いです。どうぞよろしく申し上げます。 整形外科長 中村 聡



骨粗鬆症治療について

- 使用薬剤
 - 継続
 - 変更↓
 - 薬剤名 ()
 - 開始日 ()
- 回復期医療機関退院後の治療継続先
 - かかりつけ医 ()
 - 回復期医療機関 ()
 - 磐井病院 (1回目実施日)
- 採血Ca, Alb (プラリア導入後1ヶ月、2ヶ月)
 - (/) Ca _____ mg/dl Alb _____ g/dl
 - (/) Ca _____ mg/dl Alb _____ g/dl
- 骨代謝マーカー P1NP (PTH導入3ヶ月以降)
 - (/) _____ m g/L

2回目実施日

実施日

【連絡先】

〒029-0192 岩手県一関市狐禅寺字大平17

電話 (0191)-23-3452

連携室直通 Fax (0191)-21-3990